

教科	地理歴史	科目	地理総合	年次	2	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		地理総合 改訂版 世界に学び地域へつなぐ (山川出版社) 高等地図帳 (山川出版社)					

学習 目標	(1) 世界の生活文化の多様性や、地球的課題への取組などを理解し、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を養います。 (2) 生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に関連性を考察できる力を身に付けます。 (3) よりよい社会の実現を視野に、地理に関わる諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めます。	
評価の 観点	① 知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
	② 思考・判断・表現	世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に関連性を考察できる力を身に付けている。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評価の 方法	定期考査に加え、提出物(学習プリント等)、小テストの成績、作成したレポートや資料などを総合的に評価します。また、平常の取組についても評価の対象とし、授業態度等を、総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	1 地図とGISの活用	- 地球上の位置情報の基礎として、球体としての地球、緯度・経度の基本的な仕組み、地球上での位置の示し方を理解します。 - 国境や国家の領域の世界的な基準を捉えながら、日本が抱える周辺諸国間との領有権の問題や海洋資源の利用について考えます。
	2 地理的環境の特色	- 場所や人間と自然の関わりなどについて着目して、世界各地の自然や気候などの特徴を理解し、その多様性の背景や変化の理由について考えます。 - 各地域の環境に基づいて発達する産業を基盤に成り立つ現状を捉え、地域的な特徴をグローバル化の観点で理解します。
	3 世界各地の生活文化	- 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が多様性をもつことについて理解します。 - 世界の人々の生活文化について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察します。
後期	4 地球的課題と国際協力	- 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察します。 - 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けます。
	5 生活圏の諸課題	- 他地域との結びつき、地域の成り立ちや変化などに着目して、生活圏が抱える課題を探究し、社会参画の在り方について考察します。 - 生活圏の調査と地域の展望について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養います。